

# SDGsと コーヒー

世界が目指す持続可能な開発目標“SDGs”。  
17ある目標のなかから、特にコーヒーと関わりが深い目標を紹介します。

## SDGsの目標1「貧困をなくそう」

### 世界中のあらゆる貧困を終わらせる 貧困で暮らす人の自立をサポートする

世界人口の11%を占める約6.9億人以上の人々が、極度の貧困に苦しんでおり、世界最大の課題の一つとなっています。極度の貧困とは、世界銀行が定めた「国際貧困ライン」のことをいい、1日1.9ドル未満、日本円にして210円ほどのお金（2018年7月時点）で1日の生活をまかなわなければなりません。

貧困は、飢えはもちろんのこと、医療などのサービスが制限されるほか、差別も引き起こす恐れもあります。十分な教育が受けられないことで、子世代へ貧困が受け継がれてしまう「貧困の連鎖」は大きな問題であり、早急な解決が求められています。

世界の  
11人に1人が  
極度の貧困状態



世界の約6億8,900万人（2017年時点）が1日1.9ドル未満で暮らす極度の貧困状態



### コーヒー業界との関係

### 貧困層の約80%は農村部で暮らしている

世界の貧困層の約80%は農村部に住んでおり、農業に依存した生活を送っています。コーヒーも貧困層が営む農業の一つであり、国際貧困ラインの半数はインド、ナイジェリア、コンゴ共和国、バングラディシュ、そしてコーヒーの世界的な産地として知られるエチオピアの5カ国に集中しています。

国際貧困ラインを下回っていないコーヒー農家や労働者でも、その多くがラインの近辺におり、コーヒー業界にとって目標1「貧困をなくそう」は関連の深い目標となっています。

## 「貧困をなくそう」実現へのフェアトレードの取り組み

SDGsは目標1「貧困をなくそう」を通して、極度の貧困をあらゆる場所で根絶し、2030年までに国際貧困ライン以下で生活する人々の半減を目指しています。フェアトレードはさまざまな取り組みによって目標1の実現を目指しており、フェアトレード認証商品を取り扱うことはSDGsへの貢献につながります。

### フェアトレード最低価格

農家と労働者のセーフティネットとして機能し、市場価格の変動から保護。

### フェアトレードプレミアム

品物代金とは別に支払われる追加資金で農村コミュニティの開発・発展を促進。

### フェアトレード基準

フェアトレードの恩恵が生産者へ差別なく公平に行き渡るよう基準を策定。

### フェアトレードプログラム

農家と労働者が十分な生活所得・生活資金を得るための各種支援活動を実施。

参考URL

■認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン: <https://www.fairtrade-jp.org/> ■Edu Town SDGs: <https://sdgs.edutown.jp/>